

国際こども・福祉カレッジにおける事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和4年度実績	令和4年度実績を踏まえた課題	令和5年度計画
児童・生徒を対象とした見学会	校舎見学、介護体験で学科説明を行う。	4月～12月	20校程度の上級学校訪問を受け入れ	福祉体験の場として活用されている反面、参加数の減少が続いている。	小学校、中学校、各業者からの依頼は要望は基本的に受け付ける。
ガイダンス参加	事務局との連携により、トーク内容を精査	通年	延べ23校に参加	介護・福祉希望の学生の減少	できるだけ教員が対応し、福祉の魅力を直接伝えていく。
HP	事務局が中心となり、教務方針をアピール	通年	見やすさを重視し、リニューアルアクセス数の増加		HPや各種SNSを活用し、養成校の取り組みをアピールしていく。
学校訪問	パンフ・募集要項・指定校案内等を持参	5月、9月、12月	約200校訪問	もともと介護・福祉希望の学生は少なく、地域の状況により毎年変動が大きい。	出前講座など、学生に直接変わる機会を増やしていく。

新潟医療福祉カレッジにおける事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和4年度実績	令和4年度実績を踏まえた課題	令和5年度計画
高校への介護体験の実施	進路相談企業を通じて高校生へ介護の仕事体験・専門学校の魅力などを発信する	通年	25回程度高校へ行き介護の魅力を高校生へ伝えた。実際に介護福祉士を目指し、専門学校へ進学してくれる高校生もいた。	25回程度開催実績はあるが1回の参加者で介護を希望する高校生は1名～数名程度という状況にある。もっと介護を魅力的に感じられるようなアピールが必要である。	回数的には同等程度とは考えている。SNSなどを利用しもう少し高校生が介護の魅力を感じられるようなアピールを展開していく。
小学校中学校の学校訪問(介護)の受け入れ	小学校・中学校の高等教育体験として訪問を受け入れている	通年	4回依頼があり対応を行った。車いす体験等をしてもらい、介護の仕事のイメージを作ることができたと思う。	コロナの影響もあり、「人の役に立ちたい」というニーズが増えているようには感じている。そのような意味で介護は重要な社会的な役割があることを伝えていきたい。	小学校や中学校から希望があれば受け入れていく予定である。
就職ガイダンス・キャリア教育	現場の職員に学校にきてもらい授業を行う、介護実習や体験など実践的な話をしてもらっている。就職時には就職ガイダンスも実施している。	通年	6回程度施設の方から当校に来ていただき、実際の授業などを一緒に参加してもらった。施設の皆さんから直接学生はアドバイスをもらうことができ、キャリア教育になっていると感じる。	学生にとって教員の授業だけではなく現場職員の話や話を聞けることはとても有意義である。教員自身もより現場での事例などを伝えていけるようになれるとよい。	教員も含めた施設の方との意見交換を重ね、教員と現場との両方から介護の魅力について学生へ伝えられるようになれるとよい。

新潟医療福祉大学における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和4年度実績	令和4年度実績を踏まえた課題	令和5年度計画
福祉・介護・健康フェア2022in新潟	「福祉・介護・健康フェア」(介護の日 県民の集い)における、①学生のポスター(介護の日)展示、②大学パンフレット・ニュースレター「社会福祉の仕事」・「QRコードをかざして社会福祉学科の今をのぞいてみよう!」の配置	11月	「福祉・介護・健康フェア2022in新潟」参加 介護福祉士養成施設紹介 期日:令和4年11月26日(土)10時から16時 場所:新潟市産業振興センター	学生が直接、参加する機会の設定	介護福祉士養成施設紹介 期日:令和5年11月25日(土) 場所:新潟市産業振興センター
ゲストティーチャー	介護福祉コースの学生が中学生に対して高齢者の疑似体験やゲームを行い、福祉や介護を楽しく学ぶ機会を提供する。	11月	中学校での介護体験等の実施 期日:11月15日(火)13:30~16:00 場所:新潟市立松浜中学校 内容:大学生による中学生への講話(大学でどのようなことを学んでいるのか、大学生活について、将来の夢・進路及び)及び介護技術の実演(車いすの使い方、高齢者・障がい者に対する移動介護、高齢者疑似体験) 参加者:中学2年生約120人、大学生8人、他	他の中学校で実施できる機会の確保及び、小学校でも開催する機会の情報把握	実施(1回)
社会福祉学部「求人説明会」	県内の主な社会福祉法人等が社会福祉学部4年生に対して求人説明を行う。	5月	社会福祉学部「求人説明会」の開催 期日:5月28日(土) 場所:新潟医療福祉大学Q棟 参加法人:21法人 参加学生:4年生83人 方法:各教室に分散(1教室1法人)し、対面式で実施	各施設へ訪問できる機会に結びつけることや、さらなる学生の理解度の向上	期日:5月27日(土) 場所:新潟医療福祉大学Q棟 参加法人:21法人 参加学生:4年生85人 方法:各教室に分散(1教室1法人)し、対面式で実施
就職セミナー・ガイダンス	社会福祉学部3・4年生に対する就職支援	通年	「就職セミナー・ガイダンス」の開催 3年生に4回、4年生に対して3回程度実施	学生の理解度の向上とニーズに応じた個別対応	実施(7回程度)

新潟青陵大学における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和4年度実績	令和5年度実績を踏まえた課題	令和5年度計画
新潟青陵大学・短期大学部合同企業フェア	県内の企業及び社会福祉法人に参加を呼びかけ、学生に多くの企業・社会福祉法人に触れ、視野を広げて学生にとって一番向いている業界を見つけることを目的に開催。	毎年2月ころ	開催日：2023年2月24日 参加学生：150人(大学生50人・短大生100人) 参加企業：48社(うち、介護サービス4社)	参加学生は多いものの、ほとんどが一般企業を目指す学生である。介護サービスの参加企業数を増やしたいが、来場いただいてもブースに座る学生が少ないという状況のため増やせない。	介護サービスを目指す学生は、当企業フェアとは異なるルート(県社協のフェア、実習先、インターンシップ先、教員紹介等)で就職先を決める傾向が強い。一般企業を目指す学生にも介護サービスへの関心を持ってもらえるような仕組みを検討する必要がある。
看護職&介護職の就労支援講習会 —高齢者ケアの学びなおし—	看護職・介護職で、高齢者ケアや高齢者施設での就労に興味・関心のある方を対象としての講習会。 老人介護施設で働く看護職は、学習希望がありながら現場の業務に追われ、なかなか学習機会に恵まれないという現状が分かってきた。看護の質を高めるための講習会実施の要望も聞かれたことから、2019年度からは看護職のみならず、老人介護施設で働く介護職にも呼びかけて、看護職と介護職が共に学べる内容として実施した。	2～3月	新型コロナウイルスの影響もあり開催せず。		新型コロナウイルスが5類に移行したことから、再開に向けて準備・検討中。
介護職員初任者研修課程	研修内容を修得することにより、高齢者(障害者)への理解を深め、福祉サービスに関する知識や実践的な介護技術を身につけ、介護職員としての役割を果たすことができるようになる。また福祉サービスを提供する職業を選択することや、社会福祉施設等におけるボランティア活動、社会福祉士及び精神保健福祉士の実習などに役立てることができる。	2022年度から通年実施 (4月中旬～2月上旬まで開講)	【募集定員】24人 【受講人数】15人(大学生8人・短大生7人) 【修了者数】7人(大学生6人・短大生1人) 【補講予定】8人(2023年度中に修了予定)	2021年度まで外部委託して実施していたため受講料が割高だったが、2022年度から短大教員が分担して実施することにより、受講料負担を大幅に軽減することができた。そのためか、例年以上に受講者が多かった。しかし、実習等との重複のため欠席が生じる学生が多く、多くの補講が必要になった。卒業までの間に補講を受講し、修了する見通しである。	大学、短大全学年、全学生を対象としていることから、実習スケジュール等が異なり、全員が確実に出席できる日程での開講が困難である。そのため多くの補講が発生するが、学生と教員の双方の負担を鑑み、翌年の同一講義を受講することをもって補講として、すべての補講を受講した段階で修了するシステムを採用している。オンデマンド講義等を採用できればこの煩雑さを解消することは可能だが、現状、制度的に認められていないため、このシステムを当面は継続する予定である。